

JAPAN CATHOLIC CENTER,
10-10,SHIOMI 2-CHOME,
KOTO-KU, TOKYO135-8585,
JAPAN Key Tel. 03-5632-4411

Pontifical Mission Societies Japan
教皇庁宣教事業
Joy. Jesus. Japan.

〒135-8585 東京都
江東区潮見 2丁目 10番 10号
日本カトリック会館

2025年「世界宣教月間」と「世界宣教の日」(10/19)にあたって

～第三回「宣教川柳」大募集！テーマは「希望」～

新しい教皇レオ14世を迎えた全世界のカトリック教会は、今年も世界宣教月間（毎年10月）と「世界宣教の日」（今年は10月19日）を記念いたします。今年のテーマは「諸民族の中で生きる希望の宣教者」（Missionaries of Hope Among all Peoples）です。先月4月21日に帰天された教皇フランシスコは、「希望の宣教者は、祈りの人です。…祈りは、第一の宣教活動であり、同時に「希望の最初の力です」と指摘したうえで、すべてのキリスト者（子どもたち、若者、大人、高齢者）が「自らの生活のあかしと祈りをもって、犠牲と寛大さをもって、共同で担う福音宣教の使命に積極的に参加して下さるよう心より願います。」と今年1月に発表された「世界宣教の日メッセージ」のなかで呼びかけられました（<https://j-missio.org/message/2025/>）。教皇フランシスコは、すべての人にとって親しみ深い方法で「福音の喜び」を伝え「出向いていく教会」の重要性を示してくださいました。まだイエス・キリストを知らない多くの人々、さまざまな状況のなかで洗礼を受けながらも洗礼の要求することを実行していない人々、そして教会に集うすべての人々と「福音の喜び」を味わうことができますように心から祈り行動いたしましょう（『福音の喜び』22頁参照）。

今年も、第三回「宣教川柳」を募集いたします。テーマは「希望」です。詳細は、教皇庁宣教事業ウェブサイトをご確認ください。信仰生活における気づきや希望の発見、日常におけるキリストとの出会い、みことばの素晴らしさ、ユーモアあふれる作品も歓迎します。全世代からの応募をお待ちしますが、昨年はカトリック学校に通う学生さんからの応募も多数いただきました。教皇庁信仰弘布事業は若者の宣教精神の促進をめざしています。中高生や学生さんからのたくさんの応募をお待ちしています。作品は、第三回「宣教川柳」専用の応募フォームよりご応募ください（教皇庁宣教事業のウェブサイトよりリンクしています）。募集期間は6月1日～9月30日です。なお作品は未発表のものに限り、提出された作品の著作権は教皇庁宣教事業に帰属するものとさせていただきます。特に優れた25作品については10月12日に教皇庁宣教事業のウェブサイトで紹介させていただきます。枢機卿賞、広報担当司教賞、ナショナルディレクター賞、ユーモア賞には、ミッション・ドンキーを贈呈いたします。

昨年、皆さまから寄せられた献金総額は21,416,866円でした。今年の援助先については、5月末に開催される教皇庁宣教事業通常総会の後、追って教皇庁宣教事業ウェブサイトでご報告いたします。皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。「世界宣教月間」と「世界宣教の日」の意義をご理解いただき、教会の宣教活動にご協力いただきますよう、何卒よろしく願いいたします。

2025年5月19日

教皇庁宣教事業 日本代表 門間 直

